

活動日	活動名称	活動概要
2009/04/19	多摩川博士になろう! PART33 多摩川で春を味わおう!	多摩川の土手や河原で、この時期に見られる野草を探し、野草の採取のルールや注意、それぞれの野草の名前や特徴を学びながら採取する。採った野草を集めては河原でハーブティーや天ぷら、草団子などにして、それぞれの香りや味わいを楽しむ。講師：榎本 正邦さん(えのきん事務所)
2009/05/24	多摩川博士になろう! PART34 初夏の河原で昆虫さがし!	多摩川の土手や河原で、この時期に見られるチョウなどの昆虫を探し、その種類や生態などを学ぶ。身近な場所棲んでいる生きものを調べる「歩き見つけ法(ルートセンサス)」と、歩いたルートに出現場所や種類、形状等についてイラストや写真を含めて記録する「エコマップ」の作成法もあわせて学ぶ。雨天のため、縮小し開催(フィールドワークは郷土の森園内のみとした)講師：立川 周二さん(農学博士・昆虫生態学)
2009/06/21	多摩川博士になろう! PART35 多摩川のワンドで生き物探し!	雨のため中止
2009/07/19	多摩川博士になろう! PART36 府中用水の上流へ、湧水水路を探索!	江戸時代に多摩川の旧流路を掘削してつくられたといわれる府中用水の上流域、国立市内の府中用水とそこに注ぎ込む湧水の水路(ママ下水路)、多摩川の支川矢川の周辺を訪ねる。水辺を歩きながら、崖線(ママ、ハケ)とはどんな場所なのか、地形や周辺の景観、人の暮らしとの関係等を学び、水路での生きもの探し、観察により生息する生きものについて学ぶ。講師：西田一也さん(農学博士・東京農大大学水資源計画研究室)
2009/08/09	多摩川博士になろう! PART37 夏休み! 多摩川で水中観察!!	夏休みシーズン、川や海などの水辺での安全に楽しく活動するための注意事項(熱中症対策や服装や持ちものについてなど)を学ぶとともに、郷土の森付近の多摩川で、着衣の上からライフジャケットを着用し、川の流れや構造(早瀬や平瀬、ワンドなど)や水圧などを体験しながら水の中を歩いたり、箱メガネやシュノーケルで水中を観察する。また、流された時の対応としてライフジャケット着用での川流れを体験する。講師：山道 省三(NPO多摩川センター)
2009/09/27	多摩川博士になろう! PART38 川の見方、川の地形を学ぼう!	川の名前には、その土地の地形や川の状況、自然環境などを表現するものも多い。そうした川や地名の由来とともに、台風シーズンを前に、川の流れが作った地形や、治水や利水といった管理や自然環境を保全するための施設などを郷土の森周辺の多摩川を歩きながら学ぶ。講師：山道 省三(NPO多摩川センター)
2009/10/18	多摩川博士になろう! PART39 多摩川のワンドで生きもの探し!	郷土の森地先の多摩川には「わんど」と呼ばれる川の本流とつながっている池のような流れのゆるやかな場所があります。「わんど」がどういう場所なのか、どんな生きものが見られるのか、胴長を着用してワンドの中で手網を使って生きものを採取、観察する。胴長着用及び川に入る際の注意事項や手網を使った魚の採り方、採った魚の扱い方や生態等についても体験、学習する。講師：西田 一也(東京農工大学水資源計画研究室・農学博士)
2009/11/05	多摩川博士になろう! PART40 河原の植物の冬支度&郷土の森や多摩川の木を調べてみよう!	秋の深まりとともに植物はどんな冬支度をしているのか、種や実に秘められた植物の繁殖の仕方や冬越しの様子を、多摩川河川敷などで観察しながら学習する。また、郷土の森園内や緑道の樹木とその周辺に生える樹木とその実、とくにトングリの仲間について、見分け方や特徴などを歩きながら調べる。講師：吉田 誠(植物研究家)
2009/12/13	多摩川博士になろう! PART41 多摩川の風景の中に見える洪水からまちを守るしかけ	多摩川とその支川の一つである浅川が合流する付近は、冬の渡り鳥をはじめ多くの鳥の姿を見ることができる。双眼鏡やフィールドスコープの使い方や野鳥観察について学ぶとともに、まちなかの川から、わんど、畑、合流点の広々とした河川空間など、さまざまな場所での鳥の様子などを歩きながら観察し、その特徴や生態などを知る。講師：二宮 尚子(日本鳥類保護連盟専門委員) 榎本正邦(えのきん事務所)
2010/01/17	多摩川博士になろう! PART42 多摩川に冬鳥を見に行こう!	この季節に川などの水辺で見られるカモ類などの冬鳥の姿を、郷土の森公園や多摩川の河川敷を歩きながら双眼鏡やフィールドスコープを使って観察する。双眼鏡の使い方や観察の仕方、出現したそれぞれの鳥の姿や鳴き声とともに生態についても講師の解説等により学ぶ。講師：二宮尚子(日本鳥類保護連盟専門委員) 榎本正邦(多摩川センター研究員/えのきん事務所)
2010/02/21	多摩川博士になろう! PART43 冬の生きもの観察&体験! エコマップづくり	私たちの身の回りで、どんな時期にどんな生きものがどのような姿で見られるか、観察したり調べたり、その結果を記録していくことが、生態や環境を知る上での貴重なデータとなる。どんな調査方法や調査対象、記録する方法があるのか、「歩き見つけ法」について学び、また、実際に郷土の森周辺や多摩川の河川敷を歩き、生きものの様子を観察し、その結果を「エコマップ」に表現することを体験する。講師：立川周二(農学博士・昆虫生態学)
2010/03/14	多摩川博士になろう! PART44 早春の府中崖線を歩く	府中市の南部に位置する府中崖線の下側は昔多摩川が乱流していた多摩川低地で、府中市域では標高約10メートルほどの高さとなっている。崖からはいまも湧水が湧出する箇所があり、斜面には緑地が連なる。寺社や旧道など、地域の歴史を物語る場所や地名なども残されている崖線沿いを歩きながら、史跡や屋敷林なども含めた緑をたどり、地域の暮らしや歴史、自然を探访する。講師：三島次郎(桜美林大学名誉教授)